

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

講演名	令和2年度衛生環境研究センター環境講演会 ① 「質量分析法による多様な試料の計測～環境・香り・エマルジョン～」 ② 「PM2.5の成分分析による発生源の解明」 ③ 「県内の水環境における化学物質の生態リスク評価」
講師 (発表者)	① 福井大学学術研究院 工学系部門材料開発工学講座 分析化学研究室 内村 智博 教授 (工学博士) ② 環境部 大気・化学物質研究グループ 主任研究員 岡 恭子 ③ 環境部 大気・化学物質研究グループ 主事 川村 恭平
会場	オンライン (Microsoft Teams) で開催 センター職員は衛生環境研究センター (福井市) で参加
参加者	合計44名 (当センター職員17名、オンライン参加27名)
開催日時	令和3年3月17日 (水) 13:30 ～ 16:00
研修内容	<p>環境の研究活動について県下の関係機関に広く発信することにより、その活動への理解と環境問題へ関心を深めて頂くため、当センター職員および関係機関職員等を対象に、環境講演会をオンライン開催しました。</p> <p>今年度は、福井大学の内村智博教授に「質量分析法による多様な試料の計測～環境・香り・エマルジョン～」という演題で、特別講演をして頂きました。また、当センターの岡主任研究員は「PM2.5の成分分析による発生源の解明」、川村主事は「県内の水環境における化学物質の生態リスク評価」について、それぞれ研究報告を行いました。</p> <p>参加者から、「とても良かった・良かった」「満足できた」という感想が多くあり、またオンライン開催方式は好評でした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>内村先生ご講演</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>センター職員報告</p> </div> </div>